



スポーツ吹き矢で楽しく健康に

ス ポーツ吹き矢体験会が1月20日(土)に虹のプラザ中会議室で開催され、参加者約20名が吹き矢を楽しみました。これは総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会(安達信委員長)がクラブ設立のイベントとして開いたものです。スポーツ吹き矢は腹式呼吸の動作をベースとして健康増進を目的に考案された新しいスポーツで、的に向って5本の矢を吹いて合計得点を競うというもの。参加者は県スポーツ吹矢協会ギフチョウ大石田支部(大山省三代表)のメンバーから指導を受けながら楽しく体を動かしていました。スポーツ吹矢は4月からスタートするクラブの教室の1つとなっています。大山代表は「気軽にできるスポーツなので、ぜひ多くの人に楽しんでもらいたい」と話していました。

異国の雰囲気楽しむ

イ ンド音楽コンサートが1月28日(日)に虹のプラザ多目的ホールで開催され、訪れた約200人が神秘的な異国の調べに聴き入りました。コンサートは福祉ボランティアいこいの会(森昇一会長)が主催したもので、シタール(弦楽器)奏者のアミット・ロイさん、タブラ(打楽器)奏者の小池伸弥さん、タンプーラ(弦楽器)奏者の井口裕理さんの演奏で第1部では1曲約50分のラーガと呼ばれるインドの伝統的な形式の音楽が、第2部ではベンガル地方の民謡などが披露されました。また、エントランスではインドカレーやチャイ(インド風のミルクティー)の振る舞いも行われ、訪れた方は耳と口でインドの雰囲気を味わっていました。



節分豆まきで鬼退治

節 分の豆まきが、大石田保育園で2月2日(金)に行われました。園児らは手作りの鬼の面をかぶって保育園の外へ出ると、それぞれが退治したい「ねぼすけ鬼」や「おこりんぼ鬼」などをイメージしながら「鬼は外、福は内」の掛け声で元気よく豆を投げ、さらに園舎の陰から2人の鬼が登場すると、園児らは残った豆を思いっきり投げつけていました。それでもなかなか退散しない鬼たちに対して、園児らはおうちの人や先生の言うことを聞くこと、友達に優しくすることを約束して鬼に帰ってもらいました。



たのしい寸劇で交通ルール再確認

3 つの保育園で今年度最後のかもしかクラブ交通安全教室が行われました。このうち2月2日(金)にはふたば保育園で町の阿部交通安全専門指導員と尾花沢市・村山市の指導員の3人が流行のギャグも交えてユーモアたっぷりの演劇を披露しました。劇には信号の前できちんと止まること、道を渡るときは左右を確認すること、不審な人についていけないことなど、今年1年間に学んだ交通ルールなどが盛り込まれていて、子どもたちは時折笑い声を上げたり、子どもに扮した指導員が不審者役に連れて行かれそうになると「助けて」と大きな声で一緒に叫んだりして、学んだ交通ルールを楽しく再確認していました。



バレンタインの手作りお菓子づくり

地 域おこし協力隊が主催するバレンタインワークショップが2月12日(月・祝)にKOE no KURAで開催され、小学生や親子連れなど12名がお菓子作りを楽しみました。イベントでは参加者らがチョコや抹茶、ナッツなどを混ぜた生地をこねてオーブンで焼き、ビスコッティという堅焼きのクッキーを作りました。また、クッキーを焼く時間を利用して、3通りのかわいらしいラッピングも制作しました。協力隊の香坂明さんは「男女に限らず親しい人に手作りのものを贈るのがバレンタインの本来のかたち。家族や友達などとバレンタインを楽しんでほしい」と話していました。



学生らによる除雪ボランティア

学 生らによる除雪ボランティア作業が町内各地で行われました。2月3日(土)には大石田中学校の野球部と卓球部の生徒26名による除雪作業が行われ、3世帯に分かれて作業を行いました。生徒らは1時間程度の作業で、家の周辺にたまった大量の雪をあっという間に片付けていました。自宅を除雪してもらった方は「一人ではどうしてもなくなっていたので助かりました。みんな力持ちで心強い」と話していました。2月8日(木)には仙台市の東北学院大学などの学生15名による除雪ボランティアが鷹巣地区で行われました。大半の学生は除雪作業を経験したことがなく、慣れない除雪作業にてこずりながらも、地区の方とひとり暮らし世帯などの除雪にあたりました。また、お昼には地区の方が鷹巣公民館でひっぱりうどんを振る舞い、学生との交流を深めていました。

